



2016 年 9 月

第255号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 中塚 辰生
副会長 小口 多津子 多河 敏子
書記 久保田 貞視 小口 多津子
会計 長谷川 あや子
林外会長 並木 雍子
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清 多河 敏子
直前会長 長谷川 あや子

国際会長主題 Joan Wilson (カナダ) 「私たちの未来は、今日より始まる」
スローガン: 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」
アジア地域会長主題 Tung Ming Hsiao (台湾) 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン: 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事主題 利根川 恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」
スローガン: 「手を取り合って、今、行動を！」
あずさ部部長主題 浅羽 俊一郎 「あずさ部は財物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
クラブ会長主題 中塚 辰生 「クラブ活性化に全員が一歩前進」

2016年9月 第一例会

日時: 9月10日 (土) 18:00~20:00

場所: 北野事務所 2階 大会議室

受付: 長谷川 山本

司会: 山本

開会点鐘

ワイズソング

ワイズの信条

ゲスト・ビジターの紹介

聖書朗読・食前感謝

会食

卓話 「がんの疾患軌跡とアドバンス・ケア・プランニング」

卓話者 田上 正 (タノウエ タダシ) 氏

東京医科大学麻酔科学分野臨床教授 緩和医療部部長

熊本むさしクラブ

報告: 連絡事項

スマイル

ハッピーバースディ

閉会点鐘

会長

一同

一同

会長

長谷川

一同

会長・担当者

長谷川

会長

会長

巻頭言

第72回ワイズメン国際大会に出席して

久保田貞視

8月4日(木)から7日(日)まで台湾・台北で台湾では初めての国際大会が開催され、参加者は800名近く集まり、当クラブからは小ロメン、久保田メン・メネットの3人で参加した。今大会のテーマは「LIVING IN HARMONY」で、複雑な現代社会の中で人間と自然の共存と調和のとれた発展・維持するためにどう将来を創造していくかを課題として進行することであった。

第1日目・第2日目の日中までは、圓山大飯店(グランドホテル)が、第3日目と第4日目はEXPOドームが開場でした。第1日目の公式歓迎挨拶は、総統府の秘書長 Mr.Bih-Jaw Lin で世界からのワイズメンの歓迎と奉仕活動への評価に加え、「調和のとれた生活」に言及、美しい世

先月の例会ポイント (8月)		BFポイント	
在籍	18名	切手 (国内・海外)	60g
メン	11名	累計	350g
メイキャップ	1名	現金	0円
出席率	61%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	0円
ゲスト	1名	累計	6,602円
ビジター	0名		
ひつじぐも	0名	オークション	0円
		累計	0円

(聖句)

「見よ、良い知らせを伝え／平和を告げる者の足は山の上を行く。ユダよ、お前の祭りを祝い、誓願を果たせ。二度と、よこしまな者が／お前の土地を侵すことはない。彼らはすべて滅ぼされた。」 (ナホム書2章1節)

界は調和と自然を維持する能力により、自然を守れば、自然は将来我々人間を守ると。そのあと新旧国際会長交代式が行われた。基調講演は、Dr.Huang により、ハイテックが人間の将来にどう影響するかをロボット技術の発展と自己の経験から講演されました。夜は直前国際会長晩餐会。

席は当クラブと高雄ポートクラブのIBC同志で和やかに会食。終了後、高雄ポートクラブがホストでIBCナイトがあり、私達3人に加え、IBC 予定の韓国のアンサン・エバグリーンクラブの数人も一緒に交流を楽しんだ。

第2日目は西村国際事務局長の全体報告の後、表彰式でバレンタイン賞は香港のワイズ、最多国際大会出席者は千葉クラブの青木ワイズ、また、昨年の台南大地震への寄付でアジア会長より表彰状の贈呈があり、当クラブも表彰された。他地域へのエクステンションは、モンゴルとミャンマーへのクラブチャーターの親クラブに対して表彰。午後はフォーラム(分科会)で5つに分け、小口さんがYMCAとの協働に、久保田がMCに、久保田メネットがメネット会に出席した。その後、地域議会が開催され、今回、アジア地域と南太平洋地域が合併した「アジア・パシフィック地域」の議会を聴取した。夜は、場所をEXPOドームに移動し、地域ごとの演技では日本勢は「花は咲く」の歌。次期国際会長の挨拶等は、晩餐会の席が最後列で全然聞こえなかったので省略します。

第3日は、昨日の分科会の報告のあと、IBC サイニングセレモニー。東京クラブ・台北アルファクラブ・京都キャピタルクラブのトライアングル、マニラダウンタウンクラブと高雄クラブのIBCそして高雄ポートクラブと韓国のアンサンエバグリーンクラブとIBC 契約であった。弁当昼食後は半日のツアー。当クラブの3人は北投(パイト)温泉・地熱谷ツアー。国際会長晩餐会でのジョアン・ウイルソン女史のスピーチは会場の真ん中の円台に立ち、CLEAR(コミュニケーション、リーダーシップ、エブリワン、アクション、レスポンスビリエイ)の重要性を説いて、「私達の将来は今日始まった。」「皆一緒により多くのことを実行しよう。」と締められた。その後はダンスパーティーで盛り上がった。

第4日の聖日礼拝は台北 YMCA の聖歌隊による5曲、最後はベートーベンの第九の演奏。プロらしい歌手も加わり盛り上がり素晴らしい演出だった。次回国際大会開催地韓国のイオスと決まり、韓国の実行委員長によりPRが行われた。最後はクロージング。Farewell Song で閉幕となった。

今回参加して、ホスト側の台湾各クラブ、特にIBCの高雄ポートクラブの皆様のおもてなしに感謝した。嬉しいことに、IYC参加者のひつじぐもの須郷君と佐宗さんも積極的に活動した由、記念になる国際大会でした。



IBC 台湾高雄クラブと一緒に

ワイズ国際大会・台湾余話

小口多津子

久しぶりにツアーでの大会参加でした。台北は夏の真ただ中、会場のEXPO DOME 公園までの徒歩をひとときわ甲高いセミの大歓迎と街中のバイクの騒音が迎えてくれました。

大会前日は、台北から高速道路を一路50分ほど、最北の基隆(キールン)という港町、続いて九份、十分の街を観光出来ました。戦前に台湾高雄市で生まれた私にとって、基隆は終戦で日本へ帰る引揚げ船に乗った私には懐かしい港です。予想外にビルの多い今の大きな街、山間に入りこんだかたちの明るい陽射しの港を見た時、果たしてこの場所だったかなと思いましたが、岸壁に立って暫くしてみると、あの時の場所がここだったのだと思って、当時5才の自分の姿を追いかけていました。

引揚げは終戦から1年遅れの12月でした。長崎県佐世保から迎えに来る船を何日も待っていた、岸壁そばの大きな倉庫のような建物。その中で大勢の人と過ごした光景。泣き止まない妹をいつも外へ連れ出していた父の姿。乗船した引揚げ船の中の様子。一人ずつにミカンが配られたことを思い出しました。始めてのミカンの味。始めてと言えば、佐世保上陸からまず向かった先が、父の実家の新潟、その後数日して母方の岐阜へ行き、やっと落ち着くことになったのですが、汽車に乗ってその新潟へ向かう途中で、雪というものを生まれて始めて見たのでした。空から落ちてくる白いもの、目を見開いてはしゃいでいたこと、そんなことを次々に思い出しました。

父は、高雄市の台湾製糖で働いていました。広い工場の敷地の中に社宅があって、7年前にワイズで高雄港クラブとのIBC締結式で高雄に行った時に、その会社跡地が立派な糖業博物館になっていて、そこを案内して頂きとても懐かしかったです。そこで働いていた父は、戦争が始まった後も兵役を免れました。製糖工場を即、軍需工場に変えざるをえなかったからです。砂糖の原料のサトウキビを燃料用アルコール製造に切り替えることを余儀なくされました。戦火の中、工場が爆撃に会い九死に一生を得た話は何度も聞きました。終戦で他の日本人は次々と帰国をしていく中を残されて、再び、工場が砂糖の製造に取り組むべき態勢

づくりと、指導を求められ1年後にやっと日本に帰ることが出来ました。

今回、実際にこの場所に来てみると、どんなにか仕事半ばで無念だったであろうと、その時の父の思いが少し分かったような気持ちになりました。

(雑誌：歴史街道、2016年5月号、児玉源太郎と台湾より引用)

「台湾には、随所に日本統治時代の建物が残っています。人々はこれらを壊さず、時に多額の修復費を要しても、大切に守ってきた。

病院や百貨店など、今も日常の中で普通に利用され、市民に親しまれているものも多い。そんな日式(日本式)の建物からも日本と台湾の絆が窺える。」



引き上げ船の港：基隆にて

国際大会メネットアワー

久保田佐和子

大会二日目の午後メネットアワーに参加しました。会場に入るとまず蹲のような陶器から柄杓で手を浄めて下さいました。10位の席が用意されていて参加者は110名程。司会は蔡さんで娘さんが日本語で通訳。

メネット会長から今年度の方針の発表。残念だったのは昨年の会計報告など要望があったが発表されなかった事でした。その後中国茶のお作法があり中国茶を楽しみました。茶葉によりまた温度により味が微妙に違うことは日本茶と同じですが、特に中国茶は香りが大事だと思いました。お湯は電熱器付きの万古焼の様な陶器で出来たポットで注がれましたが、あれが日本にあれば雰囲気があっていいなと思いました。通訳をして下さったAiriさんは早大の大学院生で秋から楽天に就職という素敵な人でした。



直前クラブ会長、直前メネット会長、感謝会

C班 班長 福田勝江

暑いさかりの八月十三日(土曜日)第一例会を感謝会とし、恒例でした「ファイン」から場所も新たに北野駅近くにあるレストラン {マチュ マチュ} (フランス語で半分、半分の意味) “昼も夜もマチュ マチュ”で行うことになりました。去る六月十三日大久保メネットさんのご提案で、こちらでメネット会を開催して好評でしたので、八月の感謝会で使わせて頂きたいと打ち合わせを致しました。

十二名以上ですと貸切にして頂けるので、会長共々声掛けをし、休会中の酢屋さん、ご多忙の事と思われる松本大樹さんにもご協力頂き定員を満了す事が出来ました。

長谷川前会長さん、大久保メネット会長さん、一年間本当にご苦労さまでした。

長谷川さんはクラブ代表者として多方面にわたり気を配り、またクラブのメンバーとの連絡を充にし、労を惜しまず、みなさんを引っばって下さり、六月四日、五日の {東日本区大会} では十七年間に亘る相互訪問交流が評価されDBC交流優秀賞を頂き、大きな功績でした。

大久保メネットさんも家族の中心となりご主人さまのサポートをしながらメネットとしての責を果たされたことに敬意を評します。

五時半から会長の開会の挨拶に始まり、直前会長長谷川さん、直前メネットと会長大久保さんに一年間の労をねぎらい感謝の言葉とご苦労さまの言葉を頂きました。

感謝の印として {ビクトリア} のギフト券を贈呈致しました。飲み放題のお酒で乾杯!夏の夜のひと時を楽しみ会話が弾みました。

例会に参加出来ない酢屋さんからのお話では、現在 {防犯協会} の会長を二年の任期を務められている事、来年五月には任務終了の予定とお話でした。

仕事の内容としては(社会を明るくする運動、子供達の作文コンクール) など多方面に活躍なされ、来年戻られた時には、新しい風を期待する所存であります。

又ご協力を頂いた松本さんは昨年ご家庭をお持ちになられ、益々頼もしさを感じました。これから少し時間にゆとりが出来ましたら例会にもご出席頂き若さのパワーを下さる事を心よりお願い致します。

三時間の予定もアツとゆう間に過ぎ、次期会長中塚さん、次期メネット会長並木さんにバトンタッチ (銀メダルのように...) 繋いで下さる事を祈りつつ、閉会と致しました。



東京 YMCA 夏祭り

長谷川 あや子

8月の最終土曜日、8月27日に恒例の東京YMCA夏祭りが東陽町センターで行われました。

YMCAの各センターや在京ワイズメンズクラブが出店しますが、ここ数年、西東京センターがトウモロコシ販売をするために、東京武蔵野多摩クラブと八王子クラブがお手伝いしています。(今年は久保田さん、長谷川が参加)北海道産の立派なトウモロコシが前日夕方に空輸、東陽町センターの冷蔵庫に保管されます。当日朝9時にトウモロコシの皮をむき茹で始めますが、薄皮1枚を残すところがミソです。150本を6回に分けて茹でます。茹で上がった薄皮をはがし、焼き方に回します。渡邊大輔さんや西東京センタースタッフの若い方が中心となり、火を起こし、醤油を付けて焼きますが、すみれグループのお子さんもよく手伝って下さいました。みんな、汗びっしょりですがとても楽しそうでした。

11時半にオープニングセレモニー、ジャズの演奏が2曲あり、だんだんお客さまも増えて行きます。炭火焼の香ばしい匂いが会場を包み、威勢のいい掛け声が飛び交い、一気に盛り上がります。途中、須郷さんや藤永さんも応援に駆け付けてくれました。国際大会に何度も参加しているというカメルーンの青年が須郷さん達と訪れ、日本語もお上手で夏祭り終了後の打ち上げまで一緒しました。トウモロコシは午後2時頃には完売しました。又、来年が楽しみです！



完売！ 焼きとうもろこし 300円

甲府21クラブ葡萄棚での納涼例会

久保田貞視

8月21日(日)恒例の甲府21クラブの葡萄棚下での納涼例会に当クラブから長谷川さん、福田さん、久保田メン・メネットと東京YMCA会員の岡垣さん、木村さんが出席しました。今回は八王子からの鈍行では福田さん、木村さんに久保田メン・メネットの4人が、長谷川さんは葦崎大村美術館へ、岡垣さんは甲斐善光寺に廻り午後4時に山梨駅に集合しました。今回も甲府21クラブのお二人が車でお出迎え、17:

00に開会。

古いメンバーだが初めての会長の松村禎夫さんのご挨拶では昨年逝去された中島竹男さんを偲ぶ会に触れ、残されたクラブメンバーはじめ出席者皆さんの健康を祈った後、活動方針を話されました。次に浅羽あずさ部長の挨拶があり、懇親会に入りました。

懇親会ではバーベキューを料理しながらビールと甲府産の美味しいワイン飲み放題で盛り上がり、参加者全員が一人一言となりました。その中でも東京西クラブの吉田さんがノーベル賞を受賞された大村智氏の銅像のモデルとなった話しは関心を引きました。知人が彫刻家で、彼から頼まれて、顔は大村氏の顔に体と洋服を吉田さんが試着した像が製作されるとのこと。

ちなみに同クラブの茅野ワイズは大村氏とは葦崎の学校の同級生の由。

今回も葡萄園でのガーデンパーティーは開放感があり、素晴らしい納涼例会でした。甲府21クラブの温かいおもてなしに感謝します。

高尾の森わくわくビレッジ報告(9月号)

高尾の森わくわくビレッジ 館長 佐藤 信也

日頃より高尾の森わくわくビレッジのへご支援を頂き感謝申し上げます。

8月中は台風9号、10号の影響を受け高尾でも天候が悪く対応に追われる日が続きました。特に台風9号の襲来で「皇帝ダリア」が傾き、8月26日には添え木などで対応を致しております。同日、茂木花壇隊長、並木花壇副隊長、久保田さん、長谷川さん、多河さんに起こし頂き草取り及び西洋水仙の植付け、肥料の散布を行って頂きました。ありがとうございました。尚、皇帝ダリアの生育状況を写真にてお知らせ致します。背も2m以上に育っており、花は11月に咲くとの事、とても楽しみにしています。

TWVでは8月に4,000名を超える宿泊者があり大変賑わいました。9月は3,200名を目標として頑張ります。9月は八王子市市政100周年記念行事(体験学習フェスティバル)へTWVも参加しており以下の通り体験学習イベントプログラムを実施します。お孫さんと一緒にこの機会に是非TWVへ起こし下さい。お待ちしております。



皇帝ダリア正面より

中大・学Y便り

「アジア学院を経験して」

吉田 翔悟

8月14日～17日の4日間、私は中央Y、立教Y、清泉女子Y、東北Yの方々と共に栃木県那須塩原にあるアジア学院という学校へボランティアとして訪問しました。アジア学院とは正式名称を「学校法人アジア学院アジア農村指導者養成専門学校」といい、文字通り、アジア地域の経済的に貧しい国々の農村から生徒を受け入れ、将来的にはその農村の指導者となれるよう教育することを目的とした施設です。

私がこのボランティアに参加した理由、それは私が中央YMCAに入った理由そのものなのですが、色々な人と出会い、また今まで経験したことのない事、特に国際問題、社会問題について知り、考える良い機会だと思ったからです。私が高校まで暮らしていた実家は田舎で、滅多に他所の人と交流することがなく、自分も中々すすんでアクションを起こせなかったため、上京したら絶対に多くの人と出会い、多くを学べる活動をしたと考えていました。

私の希望通り、現地での活動は私に多くのことを学ばせ、同時に多くのことを考えさせてくれました。活動の中で特に印象に残っている言葉があります。「平和とはすべての人々が満足に食事を食べられる状態である」です。私はこれを聞いて、この言葉ほど具体的に「平和」の姿を現したものは無いように思いました。実際、貧困の人ほどテロ活動に走りやすいのは既に国際的に常識となっており、最近読んだ『わたしはマララ (著 マララ・ユフザイ タリバンに命を狙われながらも女子教育を訴えた少女)』という本にも、貧しい村の人間ほどタリバンに熱心になったことが書かれています。空腹の状態だと人は心に余裕がなくなり、周囲に対し攻撃的になりやすいのは私たちにも理解できることだと思います。貧しい国においてそれを解消することができれば世界の治安は格段に良くなると私は確信しています。アジア学院の存在はその第一歩ではないでしょうか。

最後に、アジア学院での活動を終えて自分に対する大きな反省があります。それは積極的に外国人の生徒と会話できなかったことです。自分の英語力に自信が持てず、臆してしまっただけですが、せっかく色々な人と出会うために参加したというのに酷く勿体ないことをしたと今では思います。来年こそは語学力を磨いて、現地の方と英語でのコミュニケーションができればと思います。

西東京センター便り

中里 敦

この夏も小さな怪我や病気はありましたが、キャンプを無事に終えられることができ、皆様の祈りや神様に守られたことを感謝いたします。

毎年、お盆の時期に行う知的障がいの方々の3泊4日のキャンプは、山中湖センターで行われます。活動はセンター内だけでなく、グループごとに遊覧船、ハイキング、温泉など外に出たりもします。その時は、お土産を買ったり、ソフトクリームを食べたり夏の山中湖をそれぞれ楽しみます。夏の思い出の一つとして参加者一人ひとりが、楽しみ、有意義な時間を過ごしてもらえることが一番であり、そのことで日常生活が豊かになっていくことにつながることを願っています。また、保護者の方々にとってもYMCAという安心できる場所に預け、キャンプ期間をゆっくりと過ごしていただくことも願っています。他に3泊4日の幼児から小学生のキャンプでは、グループタイムが中心で、グループリーダーがプログラムを考えます。プログラムはメンバー同士の関係作りや成功体験を導く中で、子どもたちが成長していくための手段であり、グループの成長に合わせてリーダーは様々な投げかけを子どもたちに行っていきます。その働きの中で、時間と共に子どもたちもリーダーも笑顔が増え、歌声が大きくなり、一体感が生まれてきます。そこまでの過程には楽しいことばかりでなく、友だち同士ぶつかることもあります。でも、子どもたちはそこで考え、どうしたらよいのか答えを導きだしていきます。そのやり取りが互いの関係を深め、安心できる仲間へと変えていきます。まさに非日常の中で、生活を共にする良さが見えてきます。参加者、リーダーにとりこの夏の体験がそれぞれの将来に生かされていくことを願っています。今後も西東京センターのお支えをお願いいたします。

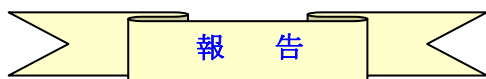


「ハイキングの途中で遊覧船乗車」

(お 話)

8月4日付のハアレツという中東のニュースに、シリアの北・イラク北部のIS国が占領しているモスルという町付近にある預言者ナホムの墓が崩壊寸前だと現地のユダヤ人の訴えがでていました。国連などに対策を呼びかけているそうです。ナホム書という預言書は3章だけで、合計47節しかなく、「ナホム」という名もその書の1章1節にしか出てこなくて、この預言者については何もわかっていないといわれているので、そのお墓のニュースにはびっくりしました。ナホム書に書かれている内容から紀元前612年のニネベ陥落前に書かれた預言書だとされるようですから、随分大昔の預言者だったことが分かります。その墓がどうしてモスルにあるのでしょうか。その修復を国連に呼びかけるあたりの国際感覚も学ばねばならないところです。そして国連がこの歴史的遺産の修復に乗り出してくれることを祈りたいです。

仲田達男



当クラブから25, 431円

***BF2016年8月報告**

切手: (国内) 長谷川 60g 海外 0g 累計350g

*** 老人デイサービスセンター鑑水***

【報告】 8月はお休みです

【予定】

9月13日(火) 手工芸 14:00~15:00

① 8月第二例会

8月27日(土) 北野事務所 小会議室

出席者(敬称略): 中塚、小口、茂木、望月、久保田、
福田 の6名。

日程・活動について

8月21日(日) 甲府21クラブ葡萄園での納涼例会

出席者(敬称略): 長谷川、福田、久保田メン・メネット、
(東京YMCA会員) 岡垣、木村

8月26日(金) 高尾の森わくわくビレッジでの花壇手入れ
西洋水仙の球根植え込みおよび周囲の雑草等刈込

参加者: 茂木、並木、多河、長谷川、佐藤、久保田 6名

8月27日(土) 東京YMCA 夏祭り

西東京センターのとうもろこし販売

参加者(敬称略): 長谷川、久保田、休会者: 酢屋

9月10日(土) 9月第1例会 北野事務所大会議室

(担当A班) 卓話者: 田上 正(たのうえ ただし)氏
東京医科大学麻酔科学分野臨床教授、緩和医療部部長
卓話タイトル: 「がんの疾患軌跡とアドバンス・ケア・プラン
ニング」

9月9日(金)~11日(日) 山中湖センターでのユース
ボランティア・リーダーズ・フォーラム 小口さん参加

9月17日(土) 18:00~第2例会 北野事務所小会議室
久保田はもりおかクラブ設立10周年記念例会に出
席のため欠席

9月24日~25日 富士山例会(富士五湖クラブ主催)

出席者: 長谷川、小口、久保田 他に高尾山クラブ数名

10月8日(土) 18:00~20:00

中大ひつじぐもナイト 北野事務所大会議室

卓話: IYCに出席した須郷君と佐宗さんの報告

10月22日(土) は第2例会ですが、あずさ部会(東
京山手クラブホスト)のため、休み。

3. 協議事項

① メイキャップについて

東日本区定款施行細則第9条を確認

② 田中寛会員の「休会届」の延長

とりあえず更に3年間、延長願いを出す

③ 次期アジア太平洋地域国際議員(アジア太平洋
地域会長)候補者推薦

東京多摩みなみクラブ所属の田中博之ワイズ

④ 第19回チャリテコンサート

茂木ワイズより、今回はジャズとして「上田亜几
子クンテッド」に依頼した。

⑤ 東日本区定款改定案

⑥ 熊本大地震への寄付について、

9月例会 卓話者のご紹介
田上 正先生

東京医科大学麻酔科学分野臨床教授・緩和医療部部長
1952年鹿児島県種子島生まれ。鹿児島県立鶴丸高
等学校卒業後、熊本大学医学部に進み、同麻酔科に入
局。米国留学を経て、熊本地域医療センターに20年
間勤務。

2011年5月から東京医科大学麻酔科学講座に臨床
教授として赴任、2013年2月から緩和医療部部長
を兼務。2015年4月から、区西武緩和ケア連携推
進事業運営会議議長を務める。熊本草葉町教会所属
熊本むさしワイズメンズクラブ所属

私はたまたま、東京YMCAのチャリティーランや西
クラブ例会で何度かお会いしましたが、大変温かな優
しい方です。医療のお話と共に田上さんのお人柄に感
銘を受けた次第です。 長谷川記

<西東京センター 主な行事予定>

【9月】

22日(木・祝)「第30回インターナショナル
チャリティーラン」@木場公園(江東区)

毎年、八王子、武蔵野多摩ワイズのご協力で、知的障
がい活動のメンバーが1チーム参加しています。参加
費等の収益は、YMCAが行う障がい児・者活動に用
いられます。支援されるだけでなく、活動のメンバ
ーが参加者として共にチャリティーランを盛り上げら
れる事は意味があると感じています。ワイズの皆さん
には本当に感謝申し上げます。模擬店やラッフル抽選
会など楽しめるブースもあります。ぜひ、応援にいら
してください。

9月誕生日の会員

大久保 重子	9月12日
大久保 清	9月20日
仲田 達男	9月22日